

お手持ちのパソコンで議会中継をご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。

追跡

— あの質問のゆくえ —

出産・子育てへの経済的支援は

出産・子育てに対する経済的支援をどのようにしていきますか。

平成20年12月定例会

町長答弁

助成事業を5回から14回まで拡充

町内に出産のできる医療機関がないので、出産しようとする方が経済的な負担や不安を持っていると認識しています。

来年度から、妊婦検診費用助成事業を5回から14回まで拡充したいと考えています。

どうなった

経済的支援を実施

妊婦健康診査にかかる費用助成の拡充については、平成21年3月から14回までの費用について助成（初回は1万円、2回目以降5千円を上限）を実施しています。

また、出産などにかかる経済的な負担軽減をはかるため、平成22年度から「ニコニコマタニティライフ応援事業」を実施、1人3万円の助成を行っています。



健やかな成長を願って
(あゆかい保育園)



新年の初詣 (鮎貝八幡宮)

町民の声

平成23年4月の選挙で7人の新人議員が誕生して以来、定例会が7回開催されていますが、新議員が質問者(延べ13回)としてデビューされました。それに加え、先輩議員は3人(延べ5回)と少なく寂しく感じられますので、経験を生かし、鋭い弁舌で当局と白熱したやり取りを今後期待したいものです。

厳しい財政状況の中で、自主立の自治体運営が求められており、更なる議会のチェック機能を発揮してほしいものです。

(東根地区 60代 男性)



編集後記

あけましておめでとうございます。年の瀬には政権交代がありました。そして新しい年を迎えました。

衆議院議員選挙の時には、いろいろな議論がありました。国民の一番の期待は景気回復であろうと思います。「巳年」は新たな出発、そして金運が良いといわれております。ぜひ、あやかりたいものです。

今年4月からは、統合保育園が開園します。統合中学校の施設整備や庁舎周辺の再配置など、課題もたくさんありますが、町民の負担に応えるべく議会活性化に向け多くの議論をしたいと思います。さらなる議会広報の充実をはかりたいものです。

(山田)

発行責任者・議長

青木 彰榮

広報委員

委員長

関 千鶴子

副委員長・編集長

山田 仁

委員

樋口与一朗

委員

田中 孝

委員

新野いく子

印刷・有梅津印刷